



令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所

令和3年度 事業計画

目 標	感染症に関する行政からの通達や最新情報を確認し、感染症予防対策を講じつつ、コロナ禍でも利用者が安心し、生活意欲が高まる支援を継続できるように相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともにモニタリング技術をさらに磨き、習得した知識の共有を図る。
理 由	<p>コロナ禍から医療連携や対面でのアセスメントなどの対応が厳しくなっている中、サービスの利用中止や利用の見合わせ等を申し出られる利用者もおられ、意欲の低下が案じられるため。</p> <p>また、定期会議や研修等で知識を得る機会も減少し、利用者の状態把握や想いの確認に加え、新規利用者との関係づくりも支障が生じやすくなっており、今まで以上にモニタリング技術の向上が求められているため。</p> <p>あわせて、相談しやすい雰囲気を大切にし、事業所内で困難事例を共有し、意見交換を積極的に行っていききたいため。</p>
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none">1. 困難事例の共有と意見交換の機会を持つ。2. 円滑なケアマネジメント業務を行うため、定期会議にて、対人援助技術に関する内容を話し合い、技術習得に努める。

令和3年度 事業報告

事業報告	<p>地域包括支援センターと連携し、行っている委員会活動の中で、社会資源や取り組んでいる地域活動に関する勉強会を行い、知識を高めた。また、各居宅サービス事業所のコロナ関連の最新情報の収集を行った。</p> <p>毎週火曜日に開催している定期会議にて、収集した地域にある社会資源やインフォーマルサポートなどについて意見交換し、情報共有と共通認識を図っている。</p> <p>インフォーマルサポートを位置づけたケアプランについては、適切な内容になっているかどうかを確認するための事例検討会を適時開催している。出席者同士で話し合い、内容に関する意見交換していることで、互いに知識を高めており、利用者本位のケアマネジメントが展開しやすい体制につながっている。</p>
事業運営総括	<p>新規の作成依頼が多く、要介護、介護予防の利用者ともに契約件数は増加している。その背景として、地域包括支援センターや病院からの紹介に加え、これまで関係のあった方からの相談や紹介も多かったことがあげられる。そのため、今後も良好な協力体制を継続していきたい。</p> <p>毎週火曜日の定期会議にて、事例検討会を行っていることでケアマネジメント力は向上している。また、会議の中で新規や困難事例にとどまらず、利用者や家族との関係性を含め、ケアマネジメントのあり方に関する内容を話し合い、互いに理解を深めていることで、情報共有と共通認識はかなっている。</p> <p>緊急事態時などに利用者に不利益が生じないように、事業所内での協力体制を整ったので、4年度は、ケアマネジメントや相談に関するマニュアルについて、PDCAサイクルをもとに見直し、一つひとつの関わりなど過程を大切した相談援助を行っていきたい。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 1.85》

令和4年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	8	5%
要支援2	6	4%
事業対象者	0	0%
予防計	14	9%
要介護1	80	54%
要介護2	27	18%
要介護3	14	9%
要介護4	10	7%
要介護5	3	2%
介護計	134	90%
合計	148	99%

(四捨五入による%の誤差あり)

新規契約者数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	6	12	9	11	6	6	5	8	8	1	5	9	86

利用者数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	31	29	31	27	11	14	14	14	14	13	13	14	225
プラン数	155	158	164	161	138	131	127	131	132	135	131	134	1,697
合計	186	187	195	188	149	145	141	145	146	148	144	148	1,922

要介護認定調査数

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	0	1	0	1	1	0	0	0	2	1	1	0	7
特養	0	0	2	0	1	1	3	1	1	0	2	3	14
合計	0	1	2	1	2	1	3	1	3	1	3	3	21

施設外研修 (令和3年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
第1回ケアマネジメント力向上会議	認知症に関する2事例について	介護支援専門員	2名	6月24日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第1回広畑ブロック研修	医療との連携について	介護支援専門員	1名	7月21日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
第1回網干ブロック研修	ケアマネジャーの倫理について	介護支援専門員	2名	7月28日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第2回ケアマネジメント力向上会議	重度化予防、自立支援に資するケアマネジメント力の向上について	介護支援専門員	1名	8月11日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第2回網干ブロック研修	感染症について	介護支援専門員	5名	9月12日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第3回ケアマネジメント力向上会議	認知機能に関するケアマネジメントについて	介護支援専門員	3名	10月28日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第4回広畑ブロック研修	口腔アセスメントと虚弱を予防するための栄養管理について	介護支援専門員	1名	12月11日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第4回ケアマネジメント力向上会議	身体的な課題が中心の2事例(医療職、専門職を交えて自立支援、重度化予防)検討会について	介護支援専門員	1名	12月15日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第5回ケアマネジメント力向上会議	身体的な課題が中心の2事例(医療職、専門職を交えて自立支援、重度化予防)検討会について	介護支援専門員	3名	2月24日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
広畑圏域主任ケアマネ交流会(研修会)	高齢者虐待について	介護支援専門員	2名	3月8日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命
第4回網干ブロック研修	精神疾患の方等安心して暮らせるための考え方と対応について	介護支援専門員	1名	3月14日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参 加 人 員	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
第5回広畑ブロック研修	認知症の方が安心して暮らせるための考え方と対応について	介護支援専門員	1名	3月22日	1日間	姫路市網干市民センター	口頭・復命

苦情対応

発生日	苦情内容	解決方法
令和3年 6月17日	<p>「利用しない時の対応について」</p> <p>利用者家族から居宅サービスを利用しない場合は、担当介護支援専門員から確認の電話などの連絡もなくなるのかとの申し出がある。</p>	<p>①家族に利用者が居宅サービスを利用しないと意思表示をした時点で担当介護支援専門員は自宅を訪問しないことを説明する。</p> <p>②今後のことを踏まえ、定期的に状態確認の電話連絡をすることを説明すると理解が得られた。</p>
令和3年 8月19日	<p>「息子への説明方法について」</p> <p>糖尿病から食事管理が必要な利用者に対し、主治医から適切に管理するようにとの指示があり、利用者が高齢者世帯だったため、担当介護支援専門員が息子に状況を説明したところ、利用者本人から「自分はぼけていないのに息子にぼけていると電話で話した」ので、担当を変更してほしいとの申し出がある。</p>	<p>①管理者が主治医からの指示は、まずは利用者本人と妻に伝えることを説明し、陳謝する。</p> <p>②息子に連絡する必要がある場合は、利用者本人に事情を説明し、了解を得てから連絡することを説明する。</p> <p>③担当介護支援専門員を変更することを説明すると理解が得られた。</p>
令和3年 8月30日	<p>「傾聴・受容について」</p> <p>利用者本人から担当介護支援専門員による一方的な情報収集ではなく、自分の話を傾聴、受容して聴いてほしいので、担当を変更してほしいとの申し出がある。</p>	<p>①管理者が、不適切な対応について、陳謝する。</p> <p>②今後は、心情を察した対応に努めることを説明する。</p> <p>③担当介護支援専門員を変更することを説明すると理解が得られた。</p>

事故対応

事故対応なし